

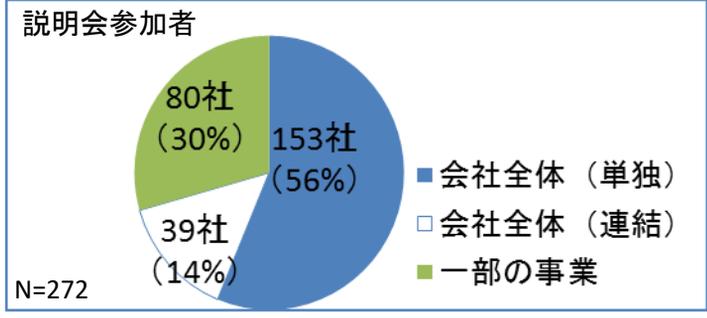
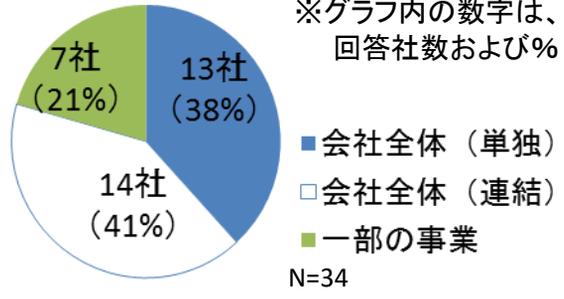
JEITA責任ある鉱物調達検討会 紛争鉱物対応に関する調査結果(2017)

調査期間: 2017年8月23日～9月25日

調査対象: JEITA責任ある鉱物調達検討会 メンバー企業 44社(うち34社が回答)

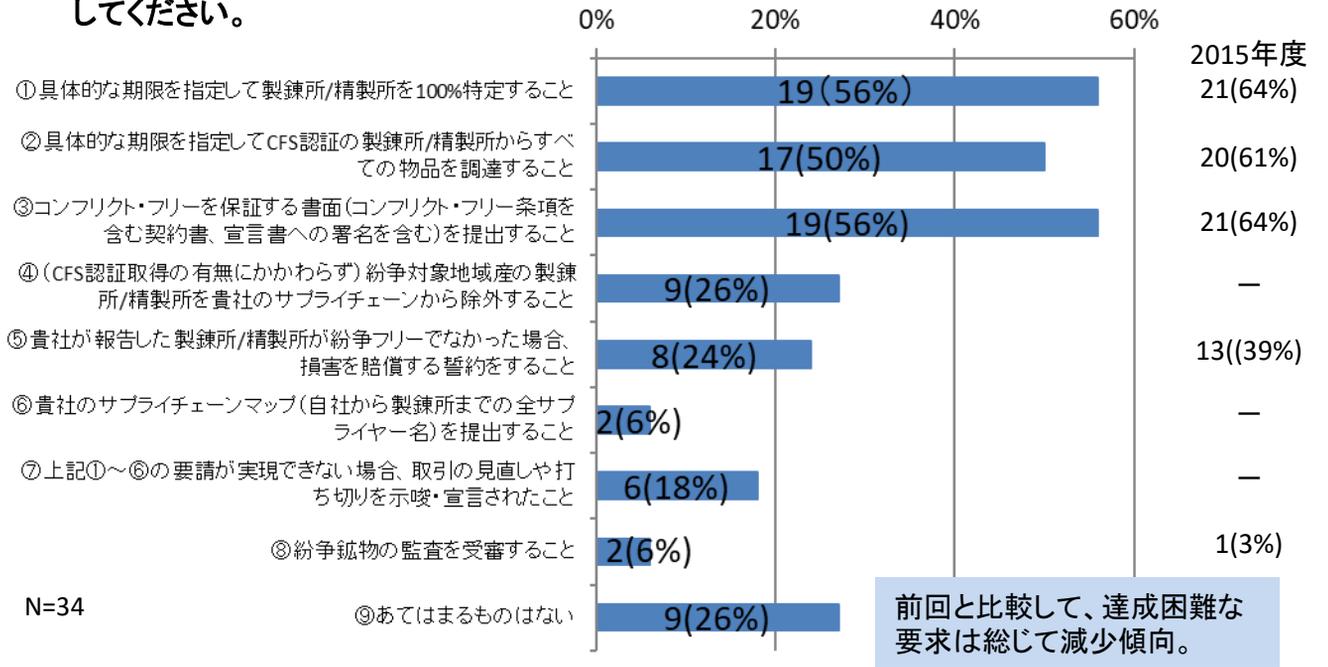
JEITA紛争鉱物調査 説明会参加者 272者が回答(一部項目)

質問1. 本調査への回答範囲

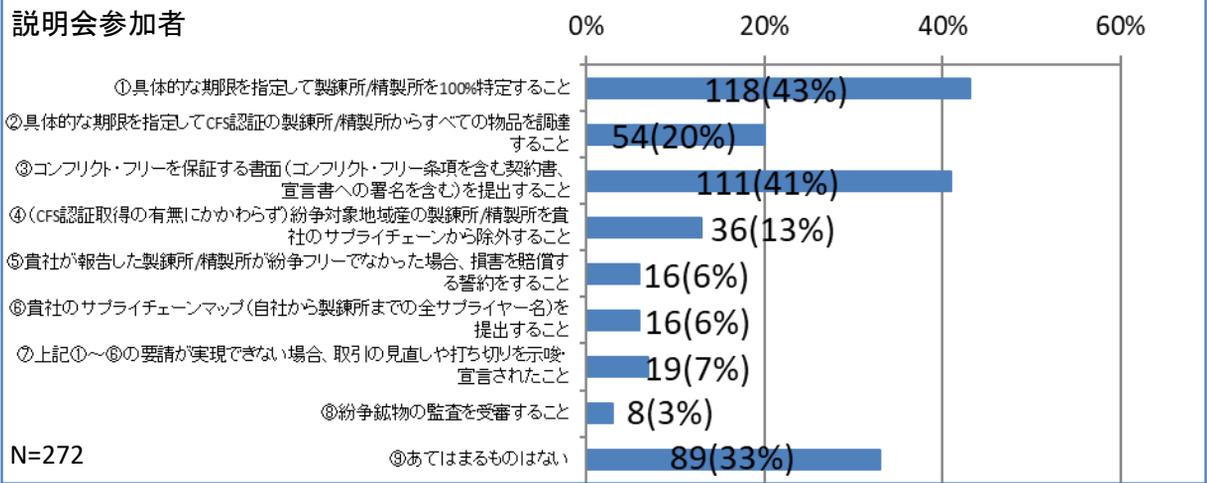


<過去1年間の紛争鉱物調査(3TG)への対応状況についてお尋ねします>

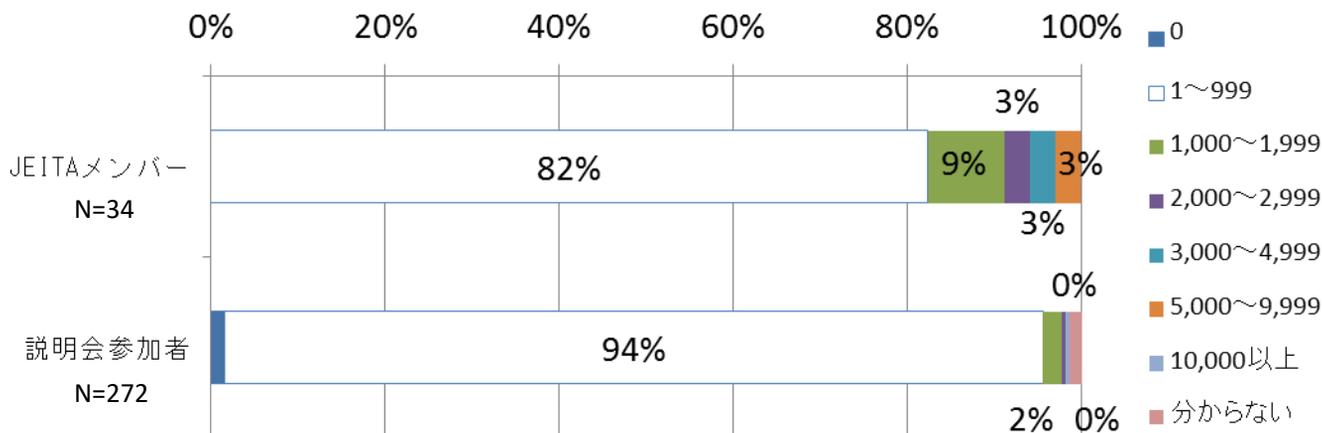
質問2. 貴社は顧客企業から、以下の要請を受けたことはありますか。当てはまるもの全てにチェックしてください。



説明会参加者



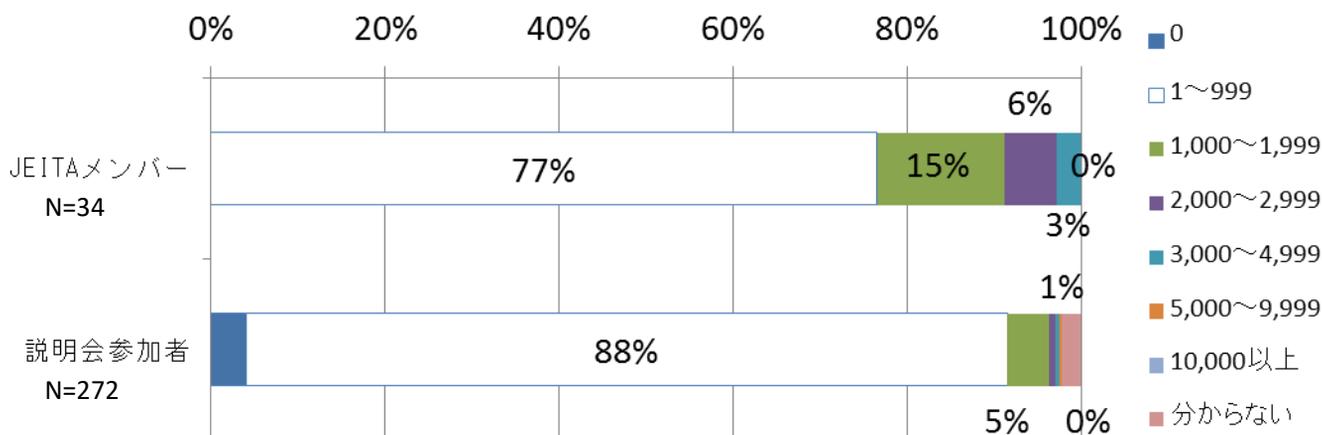
質問3. 顧客による紛争鉱物調査に対して、貴社が回答した件数を教えてください。



	0	1~999	1,000~1,999	2,000~2,999	3,000~4,999	5,000~9,999	10,000以上	分からない
JEITAメンバー	0.0%	82.4%	8.8%	2.9%	2.9%	2.9%	0.0%	0.0%
JEITA(2015年)		70.0%	20.0%	7.0%	3.0%			
説明会参加者	1.5%	94.1%	2.2%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%	1.5%

JEITAメンバーでは、1,000件未満と回答した企業が増加した一方、5,000件以上も1社となった。説明会参加者では、1,000件未満の比率が大きい一方、10,000件以上受け取った企業も1社ある。

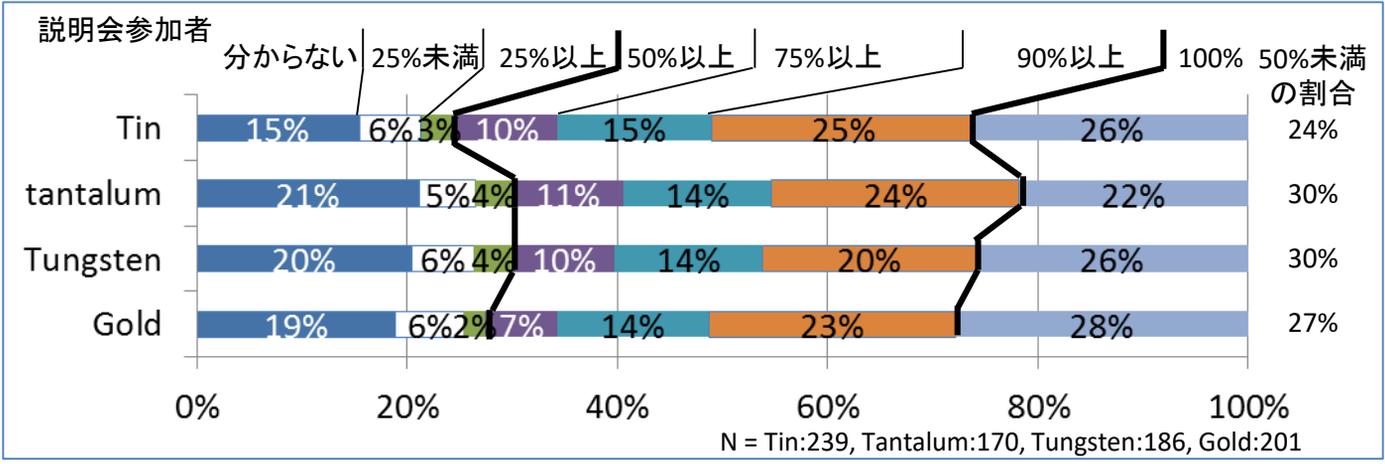
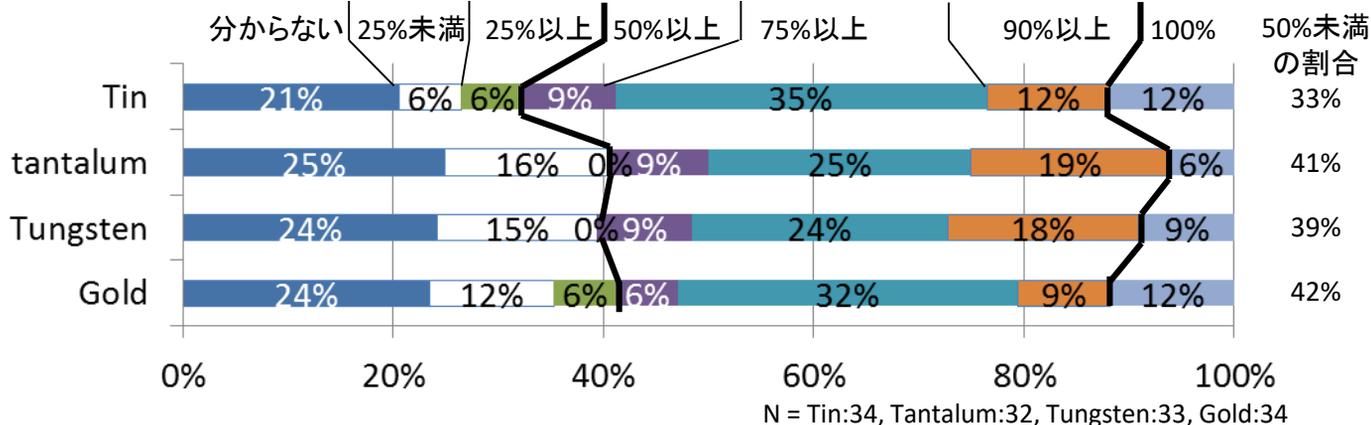
質問4. 貴社がサプライヤーに対して紛争鉱物調査を依頼した件数を教えてください。



	0	1~999	1,000~1,999	2,000~2,999	3,000~4,999	5,000~9,999	10,000以上	分からない
JEITAメンバー	0.0%	76.5%	14.7%	5.9%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%
説明会参加者	4.0%	87.5%	4.8%	0.7%	0.4%	0.4%	0.0%	2.2%

顧客からの調査要請件数とサプライヤーへの調査要請件数はほぼ同じ。サプライヤーへの調査要請件数が0の企業11社の内訳は、部品メーカー4社、材料メーカー3社、商社1社、その他3社。

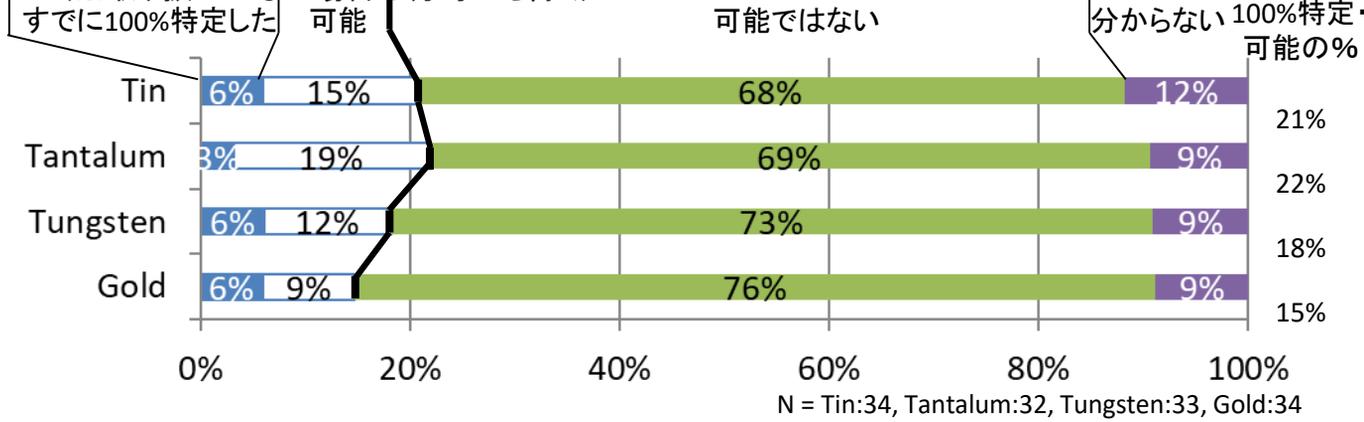
質問5. 貴社が調査したサプライヤーのうち、何%のサプライヤーが製錬所/精製所を100%特定したと回答しましたか。(※取り扱いがない場合は分母から除く)



100%特定したサプライヤーの比率が50%未満の企業は、JEITAメンバーで33~42%、説明会参加者で24~30%。
 全てのサプライヤーが製錬/精製所を100%特定したと回答した企業は、JEITAメンバーで6~12%、説明会参加企業で22~28%ある。
 説明会参加者の方が、100%特定したサプライヤーの比率が高いのは、JEITAメンバーより川上に近い企業が多く含まれているからと推測される。

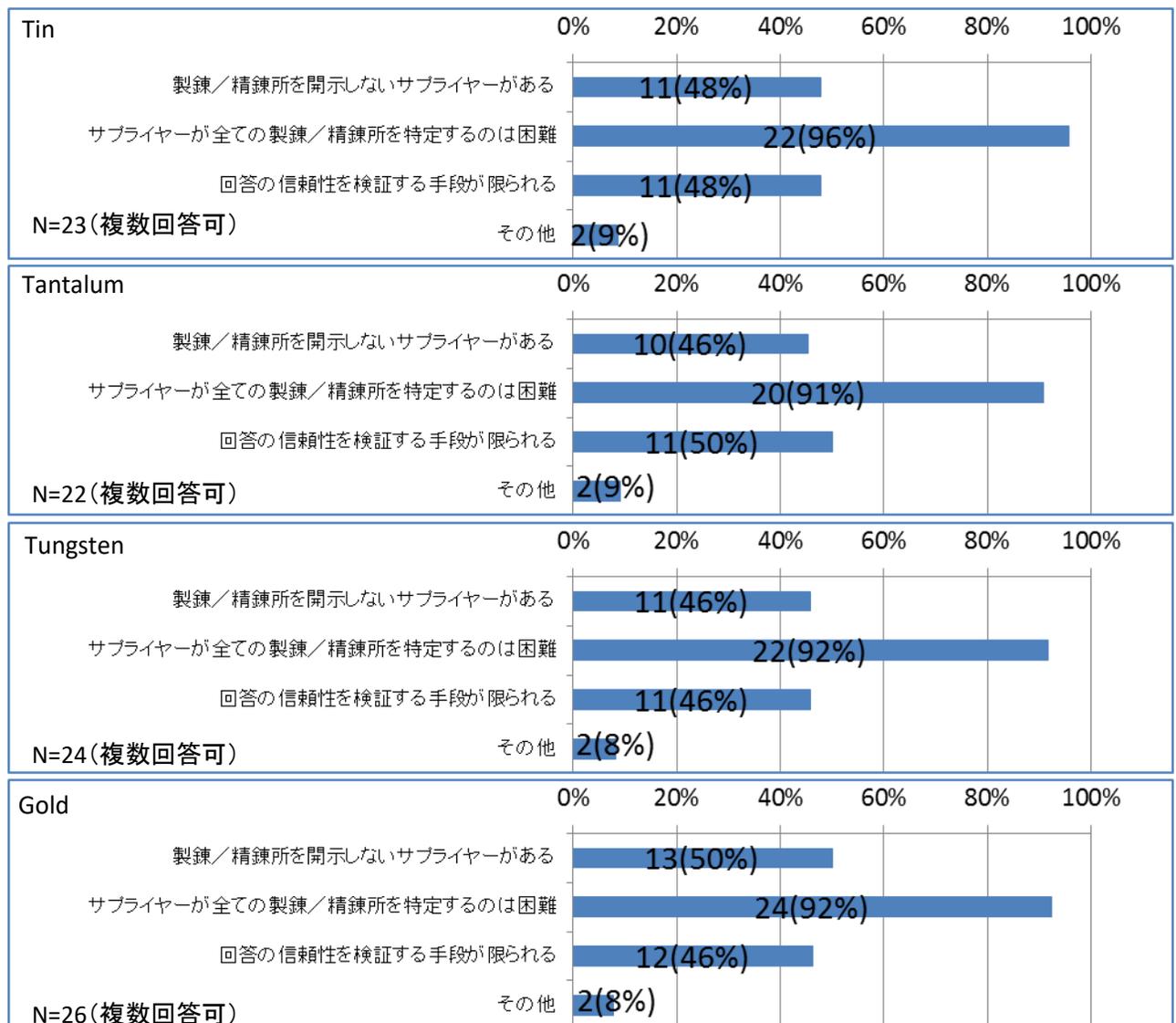
質問6. 紛争鉱物調査によって、全ての製錬所/精製所を特定することが可能だと思いますか。

(※取り扱いがない場合は分母から除く)



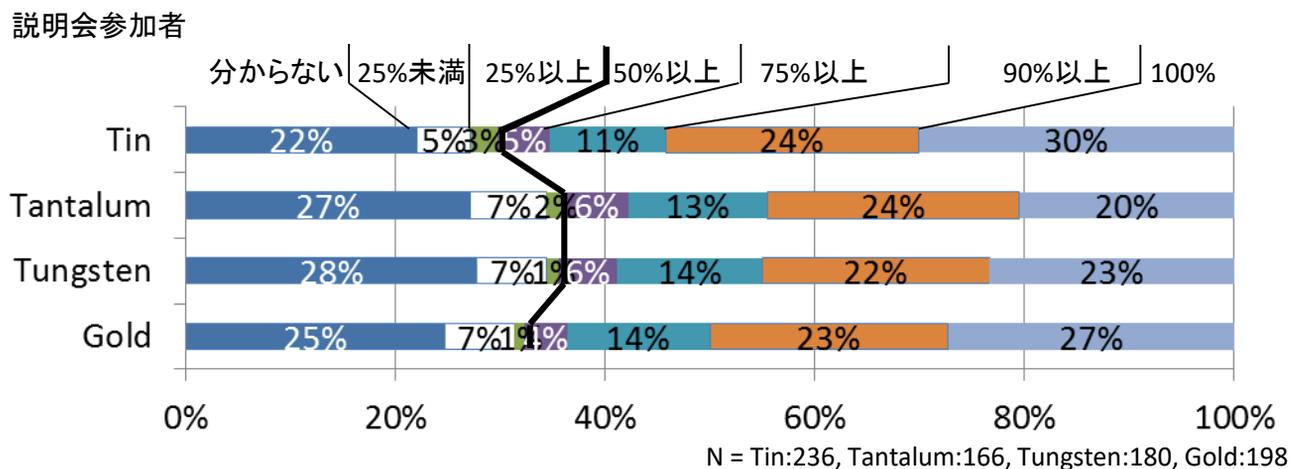
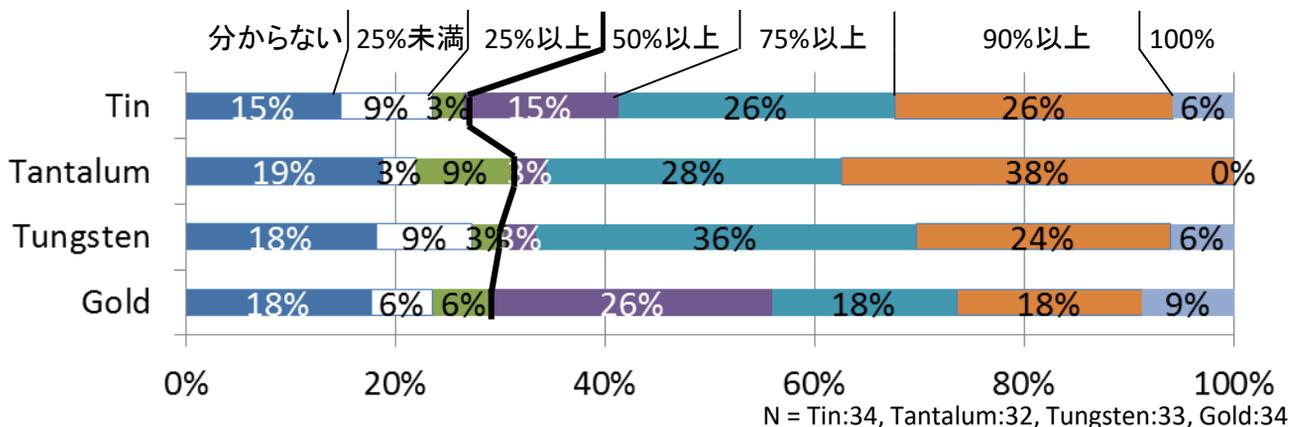
2015年調査で「困難はない」と答えた企業は18%なので、改善は見られない。

全ての製錬/精製所を特定することが「可能ではない」と回答した理由



2015年調査に比べ、「製錬/精製所を開示しないサプライヤーがある」が減少し(59%→46~50%)、「全ての製錬/精製所を特定するのは困難」(26%→91~96%)、「信頼性を検証する手段が限られている」(11%→46~50%)が増加。つまり、協力サプライヤーが増えても、これ以上調査結果の精度を上げるのが困難であることが推定される。

質問7. 貴社が実施した紛争鉱物調査において、CFSと認定された製錬／精錬所の数は、報告された全製錬／精錬所のうちの何%でしたか。(※取り扱いがない企業は分母から除く)

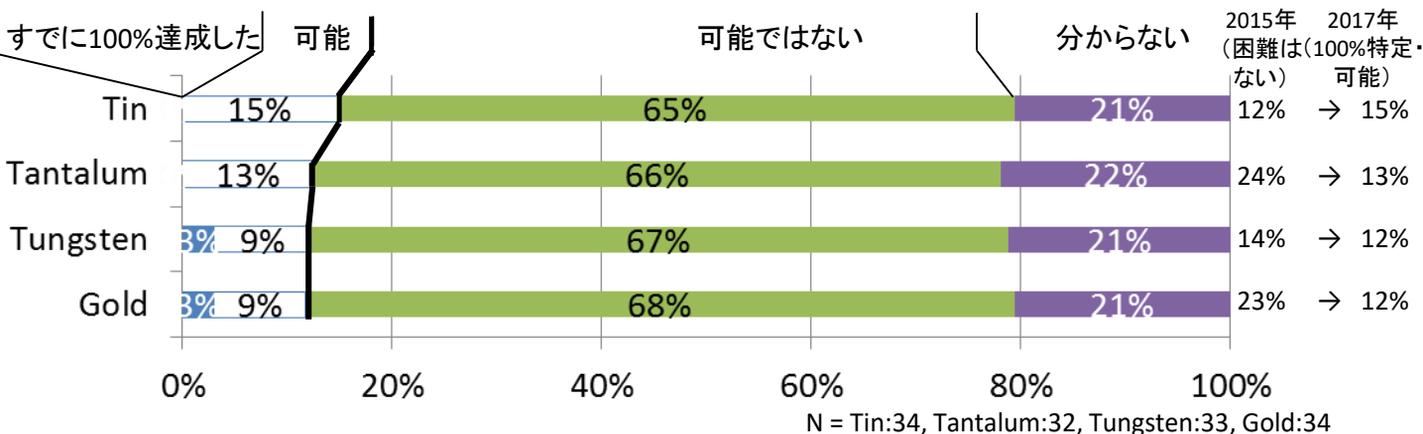


CFS認定製錬／精錬所が50%未満と回答した企業の%

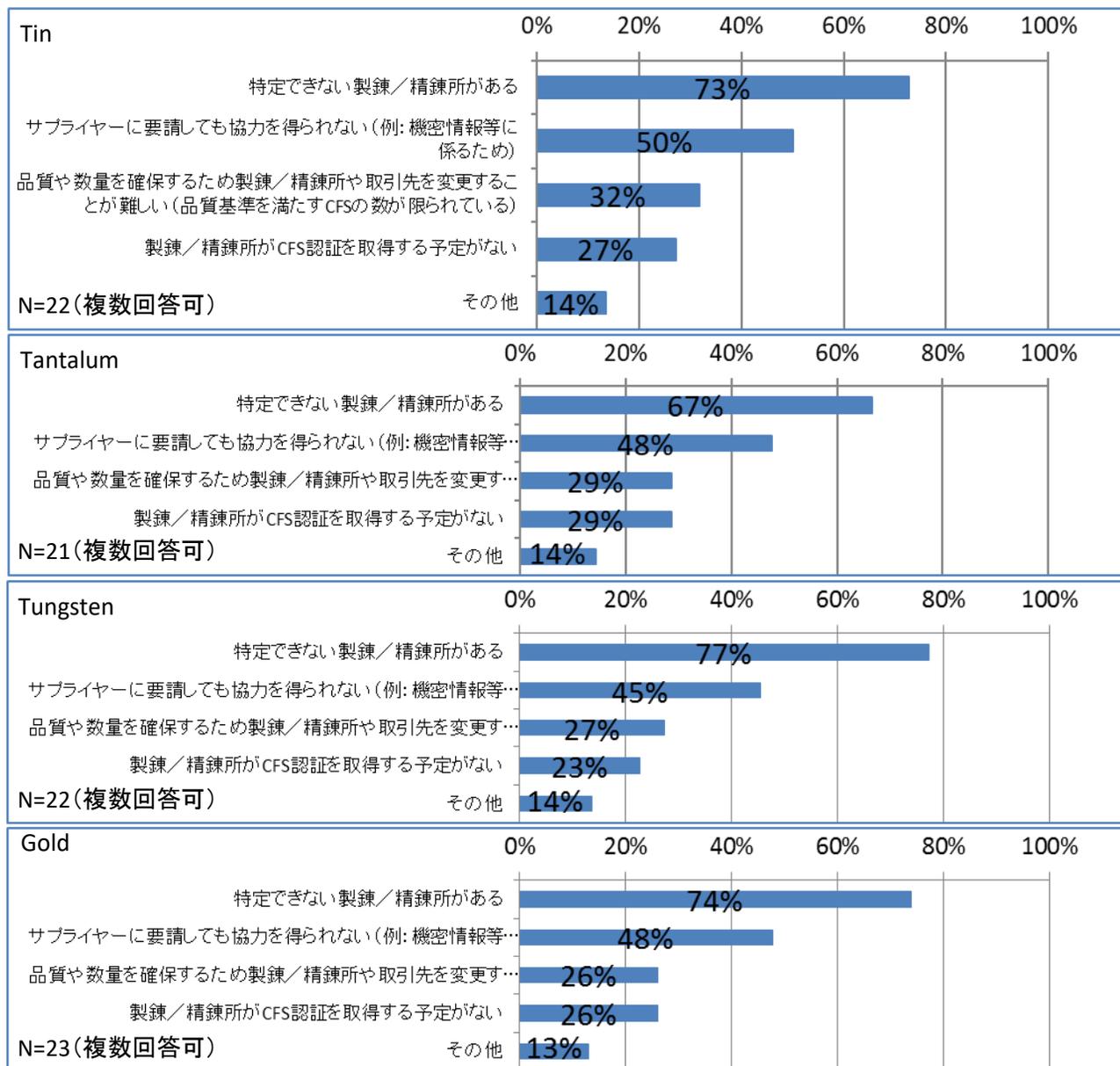
	JEITAメンバー			説明会参加者 (今回のみ)
	2015年	今回	差	
Tin	50%	27%	-23%	30%
Tantalum	41%	34%	-7%	36%
Tungsten	82%	33%	-49%	36%
Gold	50%	30%	-20%	33%

CFS認定製錬／精錬所が50%未満と回答した企業は全ての鉱物で減少。特にTungstenの減少幅が大きい。

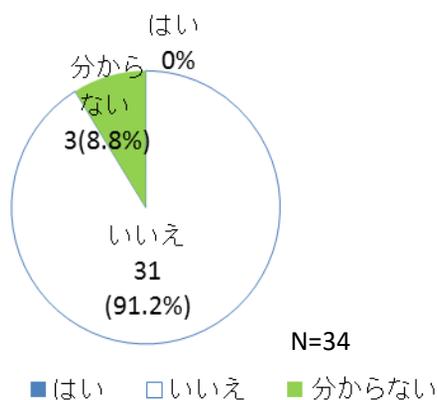
質問8. 貴社が調達する物品の100%を、CFSの製錬所/精製所から調達することは可能だと思いますか。
 (※取り扱いがない場合は分母から除く)



調達する物品の100%を、CFSの製錬所/精製所から調達することが「可能ではない」と回答した理由

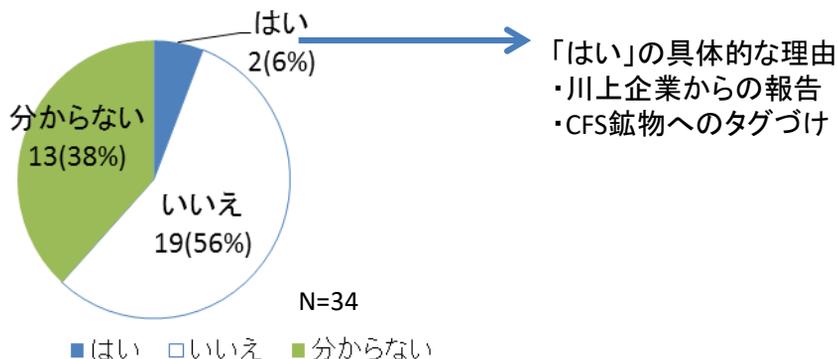


質問9. 紛争鉱物調査において、武装勢力と関わりをもつ製錬／精錬所を特定できたことはありますか。



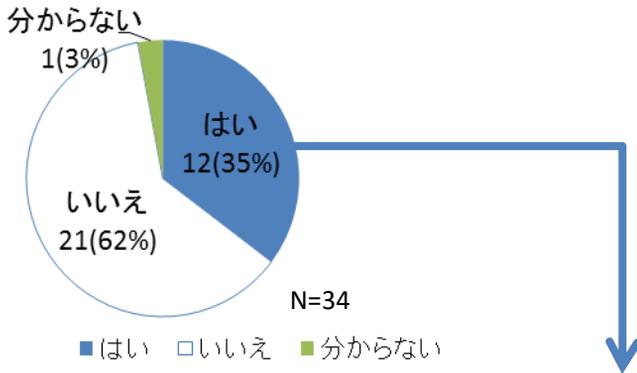
CMRTによる調査では、製錬／精錬所の武装勢力との関わりを特定できた企業は1社もない。

質問10. 製錬／精錬所がDRCおよび周辺国産鉱物を使用していると判明した場合、当該製錬／精錬所がCFSであるか否かを確認する以外に、武装勢力との関わりを確認する手段があると思いますか。

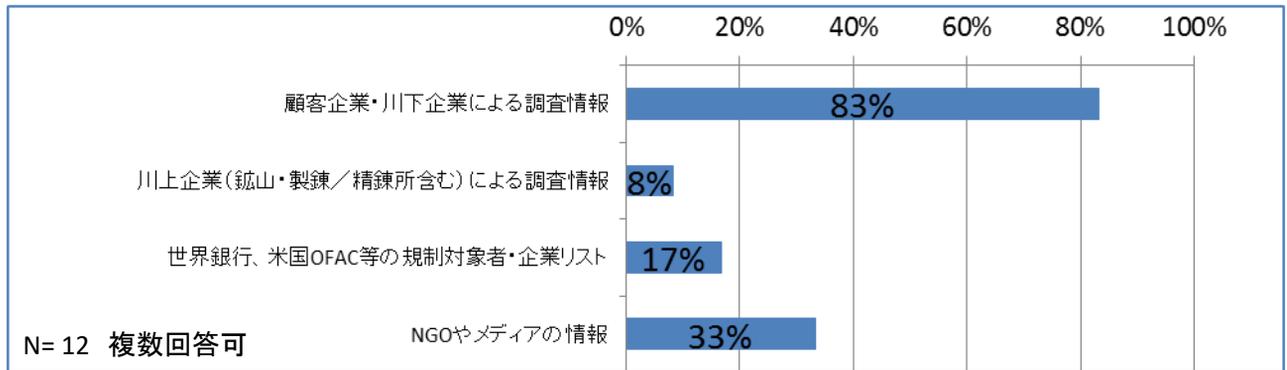


CFS認証以外に製錬／精錬所と武装勢力との関わりを確認する手段はほぼない。（「はい」と答えた2社のうち、「CFS鉱物へのタグづけ」は実際には存在しないので、アイデアと思われる。）

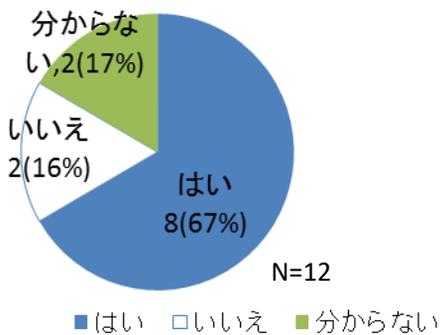
質問11. これまで特定の製錬所／精錬所からの調達回避に取り組んだことがありますか。



調達回避に取り組むことを決めた根拠は何ですか。



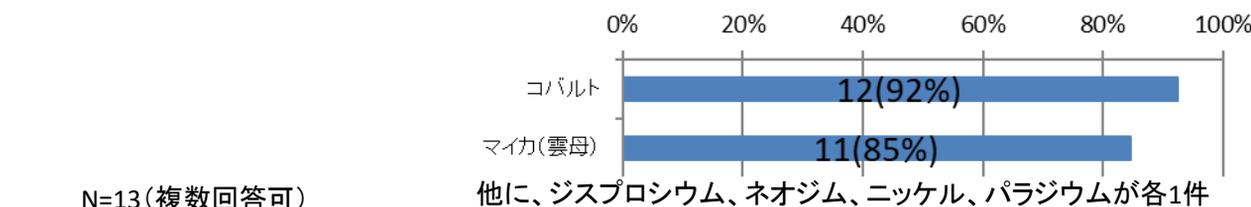
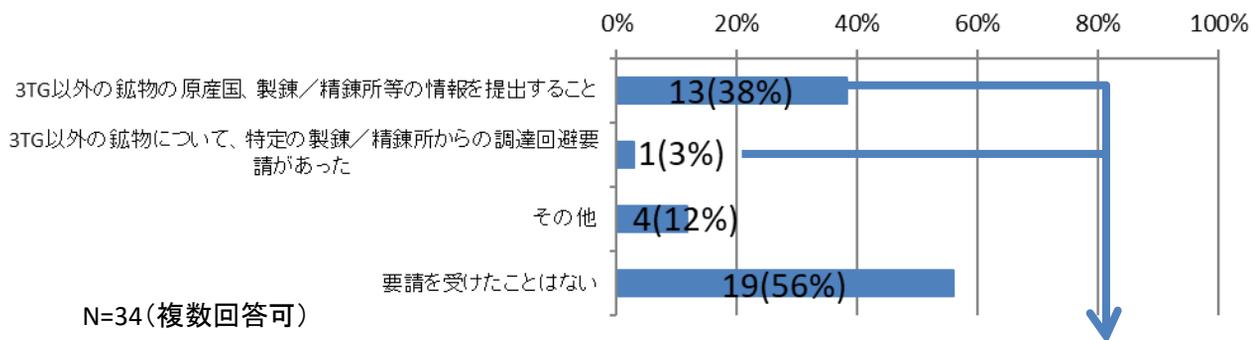
調達回避を実現できましたか。



(質問9の回答のとおり、)CMRTによる調査そのものでは製錬／精錬所と武装勢力との関わりを特定できていないが、外部から「問題がある」と指摘された製錬／精錬所からの調達回避には役立っている可能性がある。

<3TG以外のこれまでの状況についてお尋ねします。>

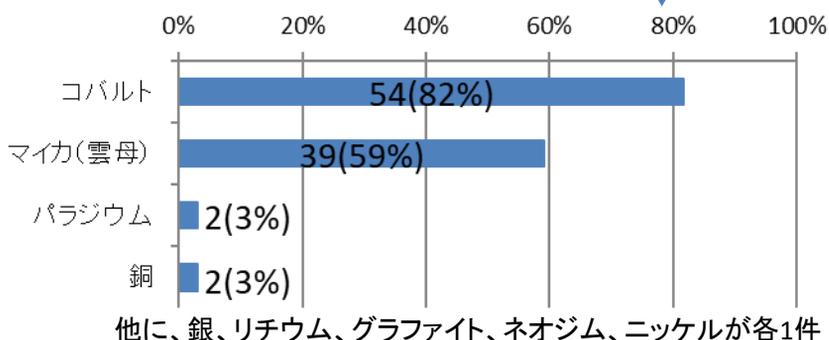
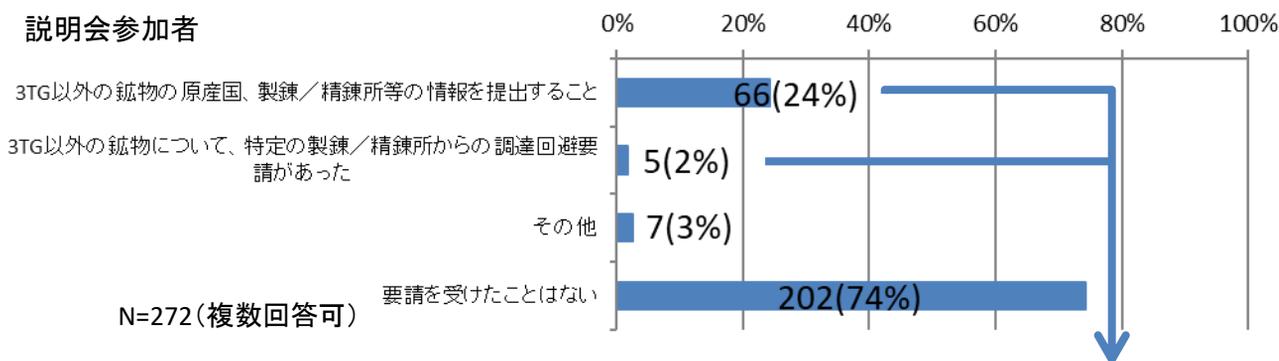
質問12. 顧客企業から、以下の要請を受けたことがありますか。(当てはまるもの全てにチェック)



「3TG以外の鉱物について、特定の製錬／精錬所からの調達回避要請があった」と回答した企業(1社)に、調達回避を実現できたか？ → いいえ

調達回避を実現できなかった理由は？ → 特定できない製錬／精錬所がある。
サプライヤーに要請しても聞いてもらえない

説明会参加者



「3TG以外の鉱物について、特定の製錬／精錬所からの調達回避要請があった」と回答者(5)に、調達回避を実現できたか？ → いいえ 3、分からない 2

調達回避を実現できなかった理由は？ → 特定できない製錬／精錬所がある。
サプライヤーに要請しても聞いてもらえない